

## 何でも読もう会

書物名	『硫黄島』 菊村 到	開催 日時	2023.3.6	推薦	
巻・章	全編			出席者	7名
<p>芥川賞受賞作を読み比べている。本作品はS32/上半期の受賞。</p> <p>太平洋戦争末期の大激戦地「硫黄島」が背景。戦後6年を経てもなおかつ当時の負い目から逃れられない一戦士のその後の苦闘と壮絶な死。</p> <p>主人公の片桐元上等水兵は結局硫黄島に再び出向いて島で自殺する。彼には結婚を約束した恋人がいた。それでも、自分一人が幸せになることはできないと言い残して島に渡ったという。</p> <p>自殺に到った経緯や心情を迫りかける、或る新聞記者がメイン。まるでサスペンスのようなタッチで一気に読めたとは多くの意見。文章も優れている。</p> <p>メンバーの係累にも同様の経験者がいて、多くは口を閉ざして語らないという発表があった。</p> <p>最近の芥川賞作品について、感性だけで書かれており、同感したり考えさせられる部分がないのが残念との意見が上がった。</p>					